

川越市政だより

No.159 月1回10日発行一部2円 (昭和32年6月10日) 発行所 埼玉県川越市役所 オ三類郵便物認可

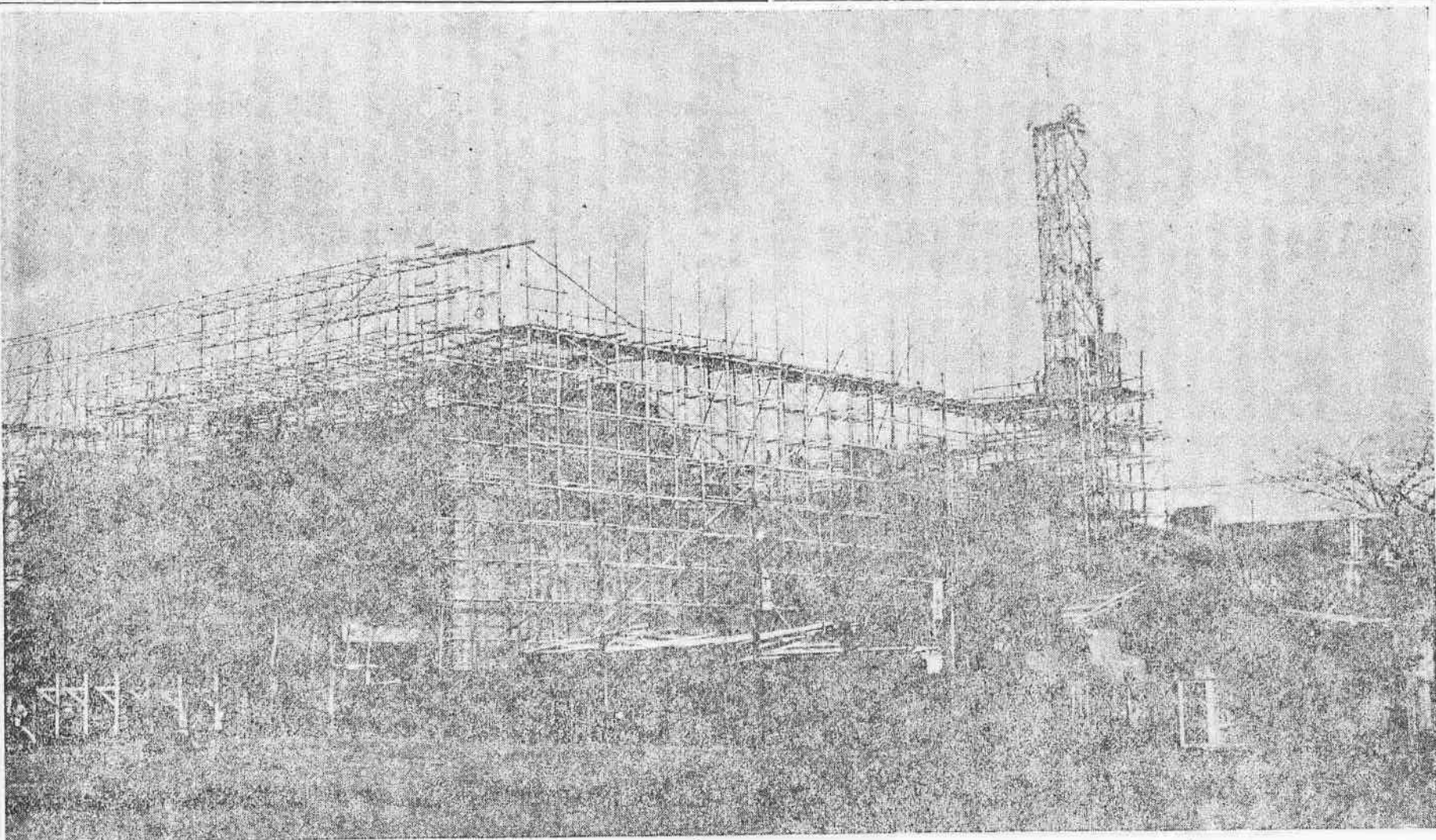
新聞印刷社 印刷

人口	116,194
男子	57,913
女子	58,281
世帯数	24,434
出生(11月中)	128
死亡(11月中)	50
前月比	270人増

「二年の計は元日にあて」とか一月は、来客の接待に追われたりして、なんとなくそわそわしがちですが、今年一年の生活の計画は、しっかりと立てておきましょう。

▽成人の日、成人式 15日
▽前大塚もちつき踊り 15日
▽お年玉賀ハガキ抽せん 15日

一月のメモ



新年によせて

市長 伊藤泰吉



みなさん、新年おめでとうでございます。

昨年(昭和三十一年)は、わたくしは多数のみなさんからの支援により、五たび市政をなすことになりました。ここに新しい年をむかえ、更に決意を新たに、職責期にある川越市政の伸張に努力していきたいと思っております。みなさんの一層の協力をお願いいたします。

昭和三十一年は、これら多くの事業をおし進めるとともに、仕上げにかかるとはありますが、まず本年春には、川越、熊谷線バイパス道路の通行可能によって、市内の悪化した交通の緩和に、大きな役割を果たすこととなり、また現在急ピッチで工事中の市民会館は、五月末には落成式をあげる計画であります。

一方、大東地区の工業団地は、下水路完成とともに、春には工場用地公営の開始であり、下水路未処理場も、本年上半期には一列の浄化槽開始の計画で、ことし中には、一部浄化槽の水処理も実現の予定であります。

思考は合併以来、心血を注いでまいりました市庁舎の増築計画が、いま漸く実を結ぶ段階にはいったわけですが、わたくしは、これらの実現にあわせて、目下一日と稱する本市の二次五カ年建設計画を立案中であり、これは、新市域一帯におよぶ上下水

の建設、上下水道、下水処理場、月吉、駒田の公営住宅、都市としての、教育、土木、産業、社会計画上の諸施設、用途地域の設定などの計画は順調に進み、特に商業高等学校の建設は、一応才一次の計画をおおったわけであり、重点的にその解決に努力をばらう決意であります。

急ピッチな市民会館の建設

市制四十周年記念事業として、建設中の市民会館は、五月開館をめざして、急ピッチに進んでいる。近代的容姿、近代的設備を誇るこの会館の完成は、文化産業の殿堂として、各方面から大きな期待が寄せられている。

【市民会館の規模】
▽延坪 四千四百八十二・八〇四平方メートル
▽鉄骨コンクリート造り三階建
▽固定席 千二百六十一
▽会議室四、その他三室
【写真は川越小学校から】

【物品】婦人団体、児童者、青少年団、児童などからたくさんのおもてがやがありました。

歳末たすけあい・ご協力ありがとうございました

昨年十一月一日から二十日までの間に、市民のみなさんをはじめ、各団体の方々のご協力により、非常にたくさんのお金が寄せられました。社会福祉協議会では、早速配分委員会を開いて、生活の苦しい方たちや、福祉施設、病院の入所者などに配分いたしました。みなさんのお協力に厚く感謝いたします。

【配分先】市内の生活保護者に、対して(一八七世帯)三十五万一千円と表数、生活保護者で入所している方八十三名に十二万九千円、▽養老院九万九千円、その他施設入所者や生活に困っている方たちにもさしあげました。

【金銭】▽総額九十八万四千円、▽一般市民から五十一万四千円、▽

ご成人おめでとう

◇………15日は成人式

◇………15日は成人式
◇成人式(室内)
◇女子高等学校禮堂で九時半から受付開始。
◇女子高はいま工事中ですので足もとにご注意ください。入口は正門のほか、岩廻り運動場からあります。

スキー講習会	期日 2月2、3、4日	会場 埼玉スキー場	参加対象 市内在住、在勤、在学者	募集人員 一五〇名	費用 一般四九〇円、学生四五〇円、満員二七〇円	申し込み 1月20日までに会費を納入し、教育委員会保健体育課へ	参加者打ち合せ 26日午後7時、中央公民館
スケート講習会	期日 1月19日	会場 軽井沢塩沢湖	参加資格 市内在住、在勤、在学者	募集人員 一〇〇名	費用 二二〇円	申し込み 15日までに会費を納入し、教育委員会保健体育課へ	参加者打ち合せ 1月16日、午後7時、中央公民館

市民体育祭	スキーの部	期日 2月16、17日	会場 菅平、タボス	参加対象 市内在住、在勤、在学者	費用 目次一部から四部滑降、同級、レク	申し込み 2月10日までに会費を納入し、市民会館へ	参加者打ち合せ 2月10日、午後7時、中央公民館
市民体育祭	スケートの部	期日 2月10、11日	会場 群馬県名湯	参加資格 市内在住、在勤、在学者	費用 目次一部から四部男女混合各別リレー	申し込み 2月6日までに氏名を記入し、市民会館へ	参加者打ち合せ 2月6日、午後7時、中央公民館

第18回オリンピック

あと275日

史上最大の東京大会

成功はわたしたちの手で

「より早く、より高く、より強く」オリンピックがめざす理想に燃えられた聖火が、東京の夜空を飾るのもあと九カ月余りのことになりました。

おおいに起せば、聖火塔といわれたいローマ大会の開会式で、世界中の若人が「四年後に東京でまたおおう」と誓った感動の瞬間は、ついでこの頃のことです。

この頃の東京は、人口が約一〇〇万をこえ、観光客が約一〇〇万をこえ、その規模において前ローマ大会をはるかにしのぐものといわれるべきなものであります。

第十八回東京オリンピック大会

長い伝統にちかわれ、育てられきたオリンピック大会の発展にわたしたち日本人の力が貢献する名譽あるチャンスです。一億国民が力をあわせ、この大会を成功させるよう、心をこめて準備をすすめてゆき、立ちあがりませう。

「より早く、より高く、より強く」オリンピックがめざす理想に燃えられた聖火が、東京の夜空を飾るのもあと九カ月余りのことになりました。

おおいに起せば、聖火塔といわれたいローマ大会の開会式で、世界中の若人が「四年後に東京でまたおおう」と誓った感動の瞬間は、ついでこの頃のことです。

この頃の東京は、人口が約一〇〇万をこえ、観光客が約一〇〇万をこえ、その規模において前ローマ大会をはるかにしのぐものといわれるべきなものであります。

市内の交通事故が急増

二〇二〇年こそ事故をなくそう

年のはじめには、人や車の往来が活発になり、道路が混雑するおそれがあります。交通事故が急増するおそれがあります。

市内の交通事故件数をみると、昭和二十七年は、前年より二・五割増し、二〇二〇年こそ事故をなくそうと、警察は、市民に呼びかけ、安全運転をすすめています。

歩行者は、歩道のない道路では、道路の左側を歩いたり、横に並んで歩いたりすることは危険です。必ず右側を歩きましょう。

目的は適正な評価

固定資産の評価替え

固定資産税の評価替えは三年目ごとに行なうことになっていて、昭和二十九年はその評価替えの年です。

その目的は、最も適正な、公平な資産の評価を行なうため、新しい評価の基準を定めたこと、固定資産税は、資産の時価が基礎ですが、現在は土地、家屋、償却資産を通ずる時価が、きわめて不均等な事情です。

このように不均等をいっしょくたに評価するのでは、家屋と償却資産の価値が、時価とあまりかわりませんが、土地については、評価額が、時価をはるかに下廻り、時に地価が急騰すれば、五分の一から十分の一程度に下がることとなります。

この評価方法は、家屋と償却資産については、従来と変わらず、土地については、従来と変わらず、評価額の状況にみあつた税負担の調整が行なわれることとなります。

このように不均等をいっしょくたに評価するのでは、家屋と償却資産の価値が、時価とあまりかわりませんが、土地については、評価額が、時価をはるかに下廻り、時に地価が急騰すれば、五分の一から十分の一程度に下がることとなります。

この評価方法は、家屋と償却資産については、従来と変わらず、土地については、従来と変わらず、評価額の状況にみあつた税負担の調整が行なわれることとなります。

地区整理で岸町一・二・三丁目

二月一日から新地番で

川越市の地区整理は、みなさんの協力により、すでに岸町一・二・三丁目の新地番が、二月一日から実施されます。

新地番のメリットは、従来の地番に比べて、土地の境界が明確になり、土地の取引が容易になります。

岸町一丁目、一番五八番、面積二六八八八八平方メートル、二九世帯、五八四人、地籍図は、岸町一・二・三丁目の地籍整理図。

国保低所得者の減税

四期で年額を調整

本年度から地方税法の改正により、低所得者保険の保険料が軽減され、従来より負担が少なくなり、減税される世帯は次のとおりです。

① 前年度の総所得金額が九万円以下の世帯。
 ② 前年度の総所得金額が九万円以下、その世帯に属する被保険者（当該納税義務者を除く）数が一五五千人を乗じて得た額との合算額をこえない世帯。
 ③ 世帯は一人当り二〇〇円、その世帯に属する被保険者数を乗じて得た額が均等割額と、一世帯当り四〇〇円の平等割額との合算額。

納税

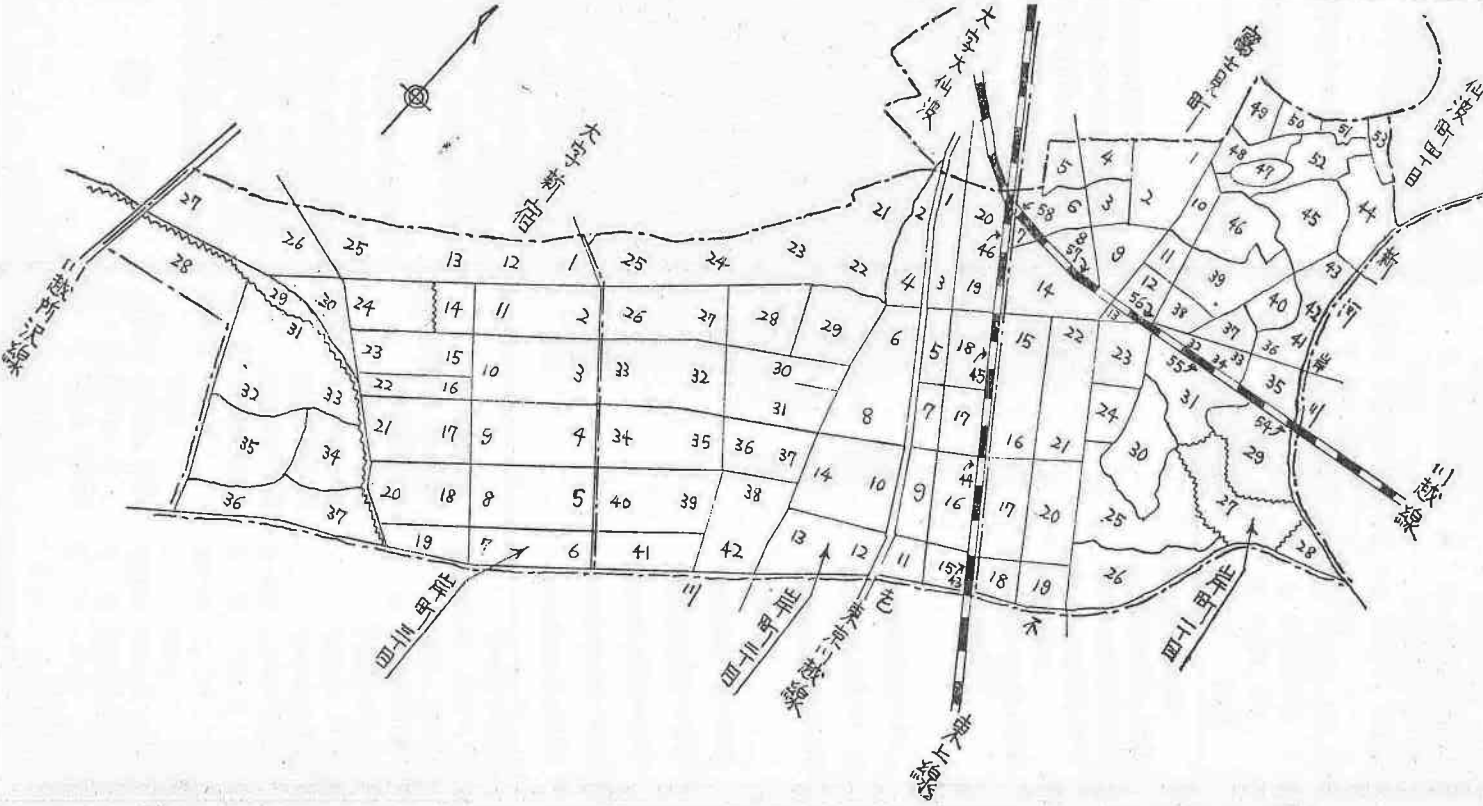
市県民税 オ4期
 保険税 オ4期
 1月31日までに納めなさい

納貯だより

上半期の完納組合

昭和二十八年年度の市税完納組合、完納組合一四五組合が、上半期の納貯を完了しました。

完納組合員は、市税の納貯を完了し、市税の滞りなく納付されています。



大字鯨井 川久保将人



「お母さん、私もやっとなんか...」
今日政治、経済、思想に於て...
私にとっては、政治は、

成人者の感想文

新しい芽をすこやかに

1月15日は成人の日です。この記念すべき日を迎える若人は、市内で2600余名になります。成人式の主催者である市、教育委員会、選挙管理委員会、公民館連絡協議会、青少年問題協議会では、成人式を迎える方たちから、成人者の感想文を募集いたしましたところ、たくさんの応募がありました。このなかから10名の入選者を選びましたので発表いたします。なお紙面の都合で作品発表は6点にいたしました。この新しい芽が、立、こぞつようみんなて明るい社会をつくりましよう。

大字鯨井 中野千代子



私にとって、今年という最も重要な年を忘れるべきではない。それは「ハタチ」という成人になった胸の低く、二十才という、オ一に心の中にわいて来るのが、これからの日本を背負っていくこととする私達若い男女に与えられた選挙権である。
つい先日、衆議院議員の選挙権を始めて手にした私は、新しい

松江町一丁目 石山 昭



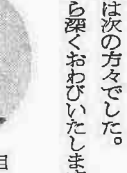
思えば、私達若き世代が、新春の一日に共に喜び合ひ、また社会の人々の祝福の拍手の中にこうして難なく迎えることが出来るのも、終戦後の悲惨な混乱期に強く耐え、強く生き抜いた私達両親のそれこそ涙ぐましい勝利の甲斐があるのだ。
私達の想像も及ばぬ異様な状態の獲得でもない、そんな単なる年合上の約束事ではなく、憲法

脇田町 小林悦子



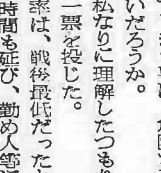
先日の衆議院選挙には、私も始めて選挙権を得た。ピンク色の一枚の紙が得た。ピンク色の一枚の紙が得た。
ではあるが、始めて手にした時は、思はず体が震えてしまった。この一枚の紙が、どれ程重大な役割をはたしたか、改めて認識し、早速近所で行なわれた立会演説会を開きに行った。そこでビックリ、私と同じ年代の人が一人もいないのである。ひどく驚かされた。
これは、私達若き者の手で、昔からつちかわれて来た良いものは、守りぞけて、悪い風習、不合理な事は改め、住み良い社会を作っていく事は、大人になった私達の責任であると思ふ。

「おわび」



十名の入選者のうち、紙面の都合で応募作品の発表が出来なかった四名は次の方々でした。
係から深くお詫びいたします。

連雀町 松本文男



私達のような若い者が、政治に無関心すぎはないだろうか。立候補者の公約も聞かないで投票してしまう事は、危険な事ではないだろうか。
私は私なりに理解したつもりで清き一票を投じた。投票率は、戦後最低だったとか投票時間も延び、勤め人等にはつづつが良かった事だろうが、何らかの理由で、投票しなかった事は、せつなく国民の権利を放棄してしまつた事になり誠に残念である。

大字平塚 滝本 英男



この世に生を賜はれてから二十二年、僕達にとっては何が短く何が長いか考えれば、今、僕達をここまで立派に成長させて下さった両親に深い感謝の気持ちを持つと同時に、本意の意味での一人立ちする僕達にとって一番大切な事は「自己に誠実であれ」と言う事ではないかと思うのです。
「自己に誠実であれ」と言う事は、自己を自覚し自分の行動に責任を持つ事、これが僕達に与えられた使命の極であると思ふ。
しかしこの有意義な日を出発として自分を自分として見る事が出来、又その反面自分の行動に対しては常に一歩離れた所から冷静な目で判断する事の出来る自覚を持たなくてはならないと思ふのです。その自覚が僕達を一歩前進させ立派な人間として成長して行く事を約束してくれると思ふのです。

富士見町 下村 康夫



成人と認められ、権利を得た。
そこには私達若き者の明るい豊かな文化生活が営まれているか否かが秘められていて、それ等を認識し選挙の重大な責任を担う存在を知り、生きた投票をすることが私達に課せられた権利であり義務なのです。
しかし、議員人権、金品による賄賂、甘い言葉やテマによる誘惑、全て私達の票を吸収せんが為に種々の不正な手段が用いられて、事実上平等が行なわれていないことを忘れてはなりません。
元来、公明選挙で明るい政治を、スローガンに掲げられている選挙違反、不道徳な選挙活動に、関心を寄せ、責任ある態度で臨もうと思ひます。

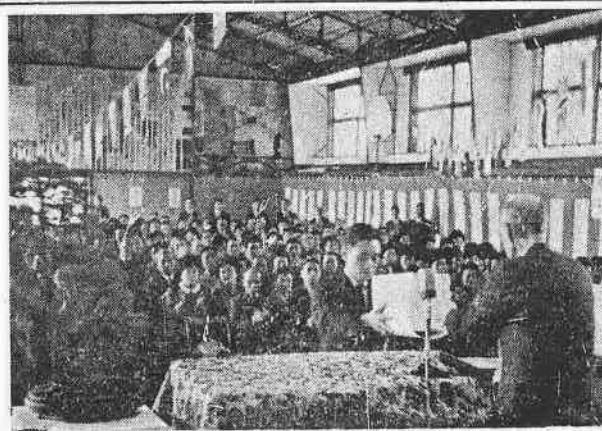
大字古谷本郷下 柳沢 汎子



因か根ざしていると思ふのです。私達若き者は、こんな現状に耐えられない。公明選挙の雰囲気は確立しないと信じて公約を履行し果して行く人々を自ら判定を下し信ずる通り投票すると共に、その成行きをも注意深く監視しなければいけないと思ひます。
前回は残念にも弊の方策、候補者の公約や人柄を吟味し的確な代表者を判断できませんでした。
だが、これを機会に今後とも選挙の意義と重大さを認識し、生き生きとした責任ある態度で、政治に関心を寄せ、責任ある態度で臨もうと思ひます。

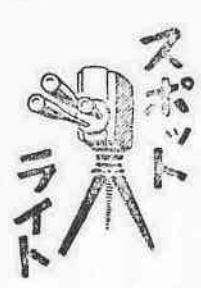
東中学校が優勝 中学ロードレース

12月6日、中学校ロードレースは市民グラウンドから伊佐沼往復で争われました。1年から3年までの学年別の12校各36人づつでレースを展開。記録を競いました。団体では東中学校が優勝しました。(写真は2年の部で1位になった東中の内海君)



勤労者祭

12月1日、工業高校講堂で勤労者祭がありました。この日表彰を受けた人は、長期勤続者、精勤者など328名、賞状と記念品を手に感慨深そうでした。



よい音楽を聞き合つて

小・中学校音楽会

12月3日、小学校と中学校の合同音楽会が中央小学校で開かれました。これは各学校の親善をかねて毎年行なわれているもので日ごろ練習している混声、女声二部合唱、器楽合奏など、つぎつぎに発表され、お互いによい音楽を聞き合っていました。



